

## 書評 となりの車線はなぜスイスイ進むのか？

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 吉田, 信彌 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/538">https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/538</a>

# となりの車線はなぜスイスイ進むのか？

トム・ヴァンダービルト著 酒井泰介訳

してくれ  
うなもので  
ある。しか  
し、著者は  
コンピュー

きたことで人の行動が変わる  
ので、パイプを太くすれば水  
が流れるという単純な原理は  
通じない。車の後方への警告  
灯をつければ追突は減ったか  
というと、そうはならなかつ  
た。道路標識をなくしたこと  
で事故が減った例も紹介され

吉田 信彌評

い国だとの指摘である。交通  
事故は国が豊かになるにつれ  
増え、ある段階からその伸び  
は鈍る。わが国の事故総数も  
最近ようやく減少しつつあ  
る。著者の論拠を紐解きなが  
ら、わが国の交通事故の行く  
末と国民の性を考えてみよ  
う。

## “交通”における人間の性、行動を考える

一筋縄ではいかない人間の  
行動を理解することなしに交  
通安全と自動車交通を論ずる  
なかれ、と具体例をあげて説  
く教養の書である。自由で広  
い観点も楽しい。自動車のな  
い古代ローマにも交通問題は

対比する、という具合であ  
る。

である。合流するための行動  
とそれが交通流に与える影響  
は思ったより複雑である。

る。プランがうまくいかなか  
った例とその理由から、人間  
の性とそれゆえの問題解決の  
難しさが浮き彫りになる。

東北学院大学教授



表題は、二車線道路の片方  
が工事中であるときにドライ  
バーは工事の地点までどちら  
の車線を進むべきかと気をも  
む場面である。そのような混  
雑問題はコンピュータが解決

よかれと思う施策が裏切ら  
れることも多い。渋滞しがち  
な道路は迂回路をつくれれば流  
れがよくなるかという、そ  
うでもない。道路が新たにで

最後に著者のジャーナリス  
トラしい卓見の一つをあげよ  
う。先進国の中で事故が減少  
するのは社会的な腐敗の少な

(早川書房 1890円)  
☆トム・ヴァンダービルト  
ブルックリン在住の作家、ラ  
イター。テクノロジ、サイ  
エンス、カルチャーに詳しく、  
『Wired』『Slate  
e』『The New Yo  
rk Times』などに寄  
稿する。

公 明 新 聞 2008年(平成20年)12月29日(月曜日) (4)